

わたしの旅  
～日本の歴史と文化をたずねて～  
2005

平成17年11月



文化庁

我が国は長い歴史を有し、また、歴史と風土が育てた優れた伝統文化や生活様式が各地に息づいています。

平成17年4月、小泉純一郎内閣総理大臣から、日本人や来日した外国人が、このような日本の歴史や文化を理解するため、各地域の文化や歴史を知るための旅のプランを公募してはどうかとの御提案がありました。

これを踏まえ、文化庁では、日本人自身や日本を訪れる外国人が、日本の歴史や文化の全体像を理解したり、日本文化の特色をより深く理解することができるよう、「旅」を通じて日本の歴史と文化をたずねる「わたしの旅」プランを広く募集いたしました。

「旅」は、一人一人がそれぞれの考えや思いを持って行うものであり、そのような考えや思いなどが旅の内容を一層魅力あるものにします。今回の募集では、多彩で特色ある旅プランを集めたいとの思いから、応募者が持っている旅に対する考えや思いなども教えていただくことにし、特に「わたしの旅」と銘打って実施いたしました。

平成17年6月末から8月にかけて募集したところ、786プランの応募をいただきました。河合隼雄文化庁長官を委員長とする選考委員会において選考した結果、その中から、提案者の思いが詰まった魅力的な105プランを100選として選定しました。さらにその中から、「大賞」を1プラン、「特別賞」を9プラン選定しました。

「旅」は、本来誰でも楽しめる気軽なものです。

文化庁では、今回選定された105プランを広く活用していただくよう、今後とも積極的に紹介してまいります。

今回の100選により、日本人自身が失われつつある日本各地の歴史や文化を再発見することで、文化芸術活動の創造や保存継承に向けた気運が高まったり、日本を訪れる外国の方々に日本の歴史や文化を知っていただき、国際文化交流がさらに促進されることを期待しています。

# 1. 応募状況及び選考結果について

# 100選の応募状況について

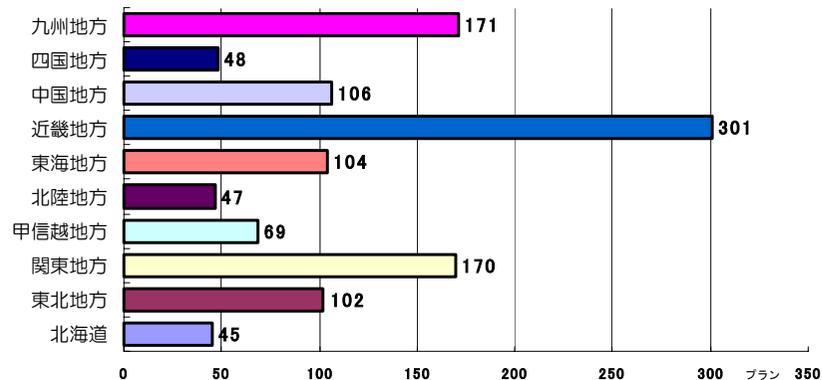
**応募期間** 平成17年6月24日～8月31日(消印有効)

**応募総数** 786プラン

## 応募プランの概要

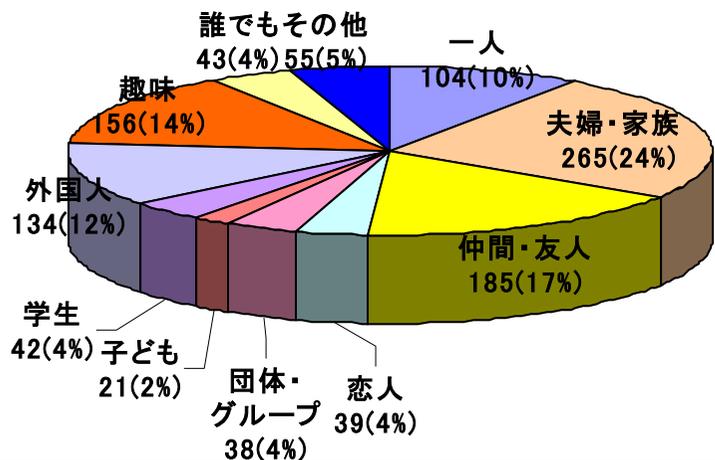
### 1. 旅先について

- 旅の訪問地は、「近畿地方」にある場所を訪れるプランが最も多く、ついで「九州地方」「関東地方」を訪れるものが多かった。
- 都道府県別では、京都を訪れるプラン(94)が最も多く、ついで、東京(68)、奈良(68)、三重(49)、岐阜(46)、北海道(45)と続く。
- 旅のテーマとしては、世界遺産をたずねるプランが34と多かった。



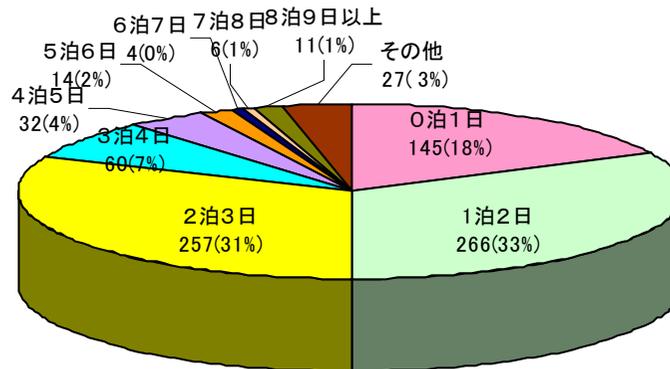
### 2. 旅の対象者について

- 「夫婦・家族」「仲間・友人」「恋人」「団体・グループ」のように、親しい間柄の人と行く旅が約半数を占めている。
- 「外国人」向けの旅として提案された旅は134プランもあった。
- 「学生」や「子ども」など若い世代に行かせたいと提案された旅もあった。



### 3. 旅の日数について

- 旅の日数としては、日帰りから2泊3日のものがもっとも多く、全体の75%以上を占める。
- 14泊15日と2週間にわたるプランの提案もあった。



### 4. 応募者について

- 応募プランの約78%(612)は個人からの応募。
- 個人応募者の中には、次のような方々がいた。
  - ・海外在住者(ドイツ、アメリカ、オーストラリア)
  - ・日本在住の留学生
  - ・高校生(スーパーサイエンスハイスクール)
  - ・車椅子を使用されている方(最大の17プランを応募)
- 団体応募者の中には、次のようなものがあった。
  - ・市(3)
  - ・観光協会(8)
  - ・大学の政策研究センター

# 100選の選考結果について

## 経緯

平成17年10月27日、選考委員会において  
100選及び大賞・特別賞を選考。

## 選考結果

「わたしの旅」100選 105プラン  
うち 大賞1プラン、特別賞9プラン

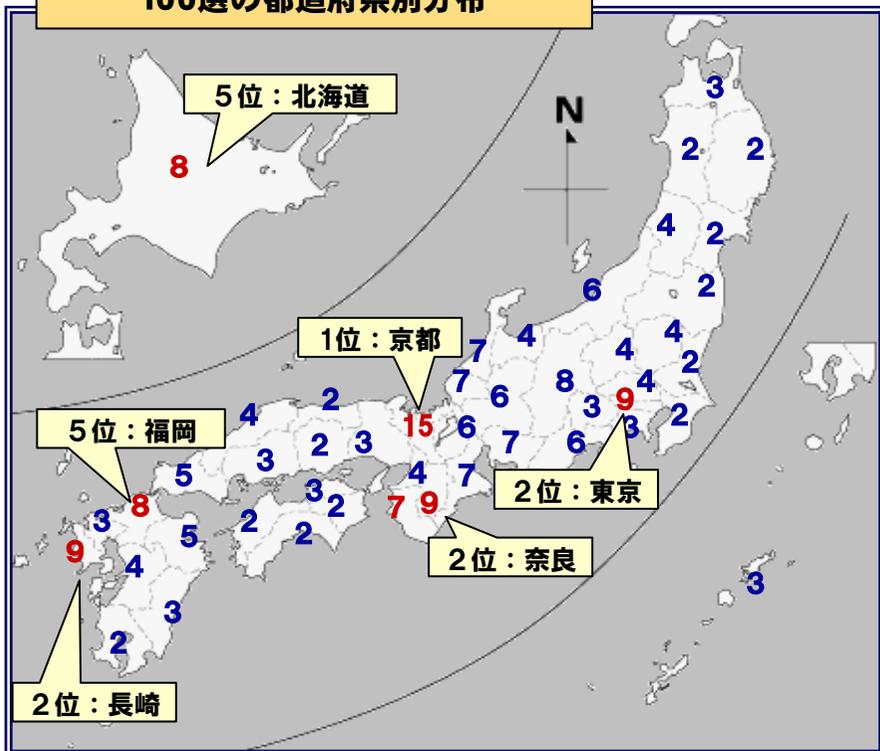
## 選考委員

石森 秀三	国立民族学博物館文化資源研究センター長
河合 隼雄	文化庁長官
小室 博一	るるぶじゃぱん編集部 統括編集長
新町 光示	社団法人日本旅行業協会会長
立松 和平	作家
平岩 弓枝	作家
平川 南	国立歴史民俗博物館館長
藤 ジニー	旅館女将
藤本 強	國學院大学教授
黛 まどか	俳人

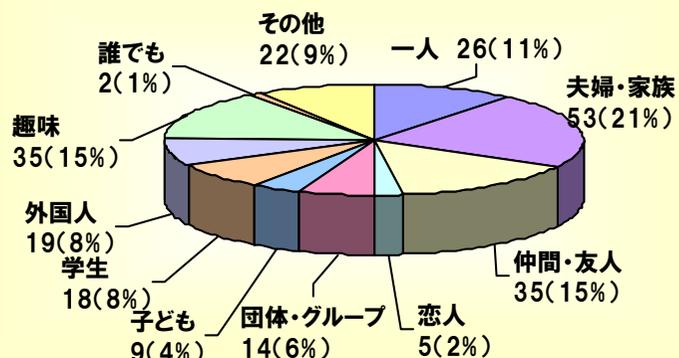
## 100選の時代区分別分布

- 5 — 神話時代
- 4 — 旧石器時代
- 4 — 縄文時代
- 5 — 弥生時代
- 9 — 古墳時代
- 10 — 飛鳥時代
- 16 — 奈良時代
- 23 — 平安時代
- 14 — 鎌倉時代
- 5 — 南北朝時代
- 11 — 室町時代
- 18 — 戦国・安土桃山時代
- 53 — 江戸時代
- 28 — 明治時代
- 9 — 大正時代
- 17 — 昭和時代
- 3 — 平成時代

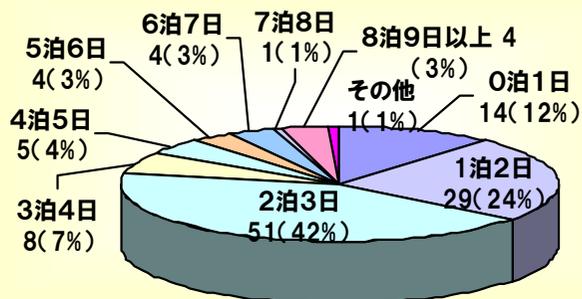
## 100選の都道府県別分布



## 100選の「旅の対象者」



## 100選の「旅の日数」



※赤字は上位3つ。  
※時代区分は一つの目安である。

## 2. 100選の概要

氏名、代表者名は敬称略

旅のテーマ	氏名 (代表者名)	住所	日数	訪問先都道府県
<b>北海道地方(6プラン)</b>				
世界自然遺産「知床」を訪ねて	大内 綾乃	北海道	2泊3日	北海道
開拓使のシンボルマーク( )を探索！～北海道の開拓歴史を学ぶ旅～	野田 繁実	北海道	日帰り	北海道
小樽発「鱈漁場の跡」をたずねる旅	小樽観光ガイドクラブ (倉重 紀久男)	北海道	1泊2日	北海道
北の大地への感謝と祈り～縄文文化・アイヌ文化への旅	チーム・カムイミクラ(神々の遊ぶ庭) (伏島 信治)	北海道	2泊3日 3泊4日	北海道
旧石器時代を体験する旅	NPオホーツク・クラスター湧別川流域研究部会	北海道	2泊2日	北海道
オホーツクの古代遺跡を訪ねて	(本吉 春雄)	北海道	5泊6日	北海道
屋根のない博物館「そらち炭鉱回廊」を行く	北海道遺産構想推進協議会 (伊田 行孝)	北海道	2泊3日	北海道
<b>東北地方(6プラン)</b>				
見どころ満載・多彩で味な、秋田の魅力、再発見！	江口 智子	東京都	4泊5日	秋田県
太宰治ゆかり地で津軽三味線と復活した立役武多を堪能する旅	澁谷 都史子	東京都	2泊3日	青森県
みちのくの自然・歴史を満喫する旅	多田 治雄	山形県	2泊3日	山形県
「日本昔話のふるさとを訪ねて、心の癒しをしてもらう旅」	広部 雅彦	千葉県	3泊4日	青森県、岩手県、宮城県、山形県
ひな街道を行く	山崎 セツ子	東京都	2泊3日	山形県、新潟県
知っているようで、知らない日本の文化の発見	渡邊 泰	長野県	2泊3日	福島県

旅のテーマ	氏名 (代表者名)	住所	日数	訪問先都道府県
<b>関東地方(13プラン)</b>				
お台場のルーツを訪ねる旅 伊豆蒔山で江戸垣庵の足跡をたどる	稲村 礼子	静岡県	1泊2日	静岡県、東京都
日本モダニズム建築めぐり旅～東京編～	井上 学宏	和歌山県	1泊2日	東京都
南北動乱の両雄 足利尊氏と新田義貞の父祖地を訪ねて	大澤 伸啓	栃木県	1泊2日	栃木県
東京10000歩ウォーキング「日本橋地区の文化財を訪ね歩く」	籾谷 典子	東京都	1日	東京都
江戸の水道の史跡探訪	小嶋 庸司	東京都	0泊2日	東京都
足尾銅山が語る20世紀・日本近代化の縮図 足尾町を歩く	佐藤 法子	栃木県	1泊2日	栃木県
中世の「鎌倉城」の長城(城郭)を歩く	佐藤 治夫	神奈川県	2日	神奈川県
塩輪たちが語り始めます。旅は今、群馬からと、奈良ばかりを見てはわかりませぬ。」	田邊 雅明	東京都	1泊2日	群馬県
国宝金錯銘鉄剣とときたま古墳群を訪ねる	藤倉 明	埼玉県	0泊1日	埼玉県
高麗の里をたずねる。	山本 修康	埼玉県	0泊1日	埼玉県
佐倉の歴史・自然・文化を体験する校外学習	佐倉市教育委員会 指導課 (高野 敬一)	千葉県	日帰り	千葉県
地球を推理する	福恋村グリーンツーリズム「火山体験プログラム推進委員会 (佐藤 智)	群馬県	2泊3日	群馬県
古くからの城下町である、茨城県結城市を巡る旅。	法政大学社会学部 加次ゼミナール第9期生 (金子 奈央)	東京都	0泊1日	茨城県
<b>甲信越地方(10プラン)</b>				
忍者を知る旅	大野 和美	埼玉県	2泊3日	岐阜県、長野県
分水嶺を越えて、古い町並みジグザグ紀行	奥野 直子	東京都	4泊5日	長野県、岐阜県、富山県
日本の絵本美術館を訪ねて	栗原 祐司	東京都	2泊3日	長野県、山梨県
歴史あり、文化あり、芸術あり、温泉あり「信州の風土をおして心の安らぎを求める旅」	紺野 薫	福島県	2泊3日	長野県
塩の道「千国街道」を歩く	斉藤 剛	長崎県	2泊3日	新潟県、長野県
初来日した米国系夫妻を私の故郷の祭りとして郷土芸能に案内しよう	中坪 功雄	神奈川県	7泊8日	愛知県、静岡県、長野県
甲州の歴史と文化を再発見する旅	中山 誠二	山梨県	2泊3日	山梨県
富士山の文化を訪ねる旅	宮阪 佳彦	山梨県	1泊2日	山梨県
越後古代から近世への変遷をたどる旅	上越市観光振興課 (金子 一郎)	新潟県	1泊2日	新潟県
佐渡案内(初来島の方角)	新潟県佐渡市教育委員会 佐渡伝統文化研究所準備室	新潟県	2泊3日	新潟県

旅のテーマ	氏名 (代表者名)	住所	日数	訪問先都道府県
<b>北陸地方(9プラン)</b>				
能登の風景・食・人々に今も残る日本の文化を通して日本人のアイデンティティを知る旅	坂井 亮一	石川県	2泊3日	石川県
能登の伝統工芸にふれる	佐藤 功	神奈川県	2泊3日	石川県
世界文化遺産白川郷と日本の匠の技を訪ねる旅	志摩 泰子	静岡県	4泊5日	岐阜県、石川県、福井県、滋賀県、愛知県
富山売薬をめぐる近世近代の違い	松岡 好美	神奈川県	1泊2日	富山県
若狭と湖北の歴史・文化・まちづくり ほっとやすらぎの旅	松見 忠昭	福井県	1泊2日	京都府、福井県、滋賀県
加賀の歴史・文化探訪～丸谷焼発祥の地・北前船の栄華を訪ねる～	石川県加賀市観光情報センター KAGA旅・まちネット (岡田 基義)	石川県	2泊3日	石川県
悠久の時を超えて人を魅了する歴史遺産と美食の郷	社団法人 若狭湾観光連盟 (濱岸 利一)	福井県	2泊3日	京都府、福井県
わが国最古の鉄道物流ルートを行く	西日本鉄道考古学会 (草水 陽一)	大阪府	2泊3日	京都府、滋賀県、福井県
分水嶺を越えて、古い町並みジグザグ紀行(再掲)	奥野 直子	東京都	4泊5日	長野県、岐阜県、富山県
<b>東海地方(10プラン)</b>				
江戸260年間を2日間で駆け抜ける旅 家康から巖山まで	加藤 学	兵庫県	1泊2日	愛知県
歩いて訪ねる 名古屋 歴史とものづくりの心にもふれる旅	川辺 泰正	愛知県	2泊3日	愛知県
古窯に日本の陶磁器産業の源流をたずねる旅	河野 いわお	愛知県	3泊4日	岐阜県、愛知県、滋賀県
徳川(家康・慶喜)文化をたずねる旅	松本 葉生	静岡県	2泊3日	静岡県
井上靖「しるばんば」・「夏草冬湍」の舞台と背景	静岡県三島市経済部観光推進室 (室長 戸川 一登志)	静岡県	1泊2日	静岡県
お台場のルーツを訪ねる旅 伊豆蒔山で江戸垣庵の足跡をたどる(再掲)	稲村 礼子	静岡県	1泊2日	静岡県、東京都
忍者を知る旅(再掲)	大野 和美	埼玉県	2泊3日	岐阜県、長野県
分水嶺を越えて、古い町並みジグザグ紀行(再掲)	奥野 直子	東京都	4泊5日	長野県、岐阜県、富山県
世界文化遺産白川郷と日本の匠の技を訪ねる旅(再掲)	志摩 泰子	静岡県	4泊5日	岐阜県、石川県、滋賀県、愛知県
初来日した米国系夫妻を私の故郷の祭りとして郷土芸能に案内しよう(再掲)	中坪 功雄	神奈川県	7泊8日	愛知県、静岡県、長野県

旅のテーマ	氏名 (代表者名)	住所	日数	訪問先都道府県
<b>近畿地方(28プラン)</b>				
日本の海外交流の軌跡を九州に訪ねて	生熊 文	ドイツ	1泊11日	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、鹿児島県、大分県、山口県、京都府
名松線と伊勢本街道の旅～北畠氏の中世都市・多気を訪ねて～	石淵 誠人	三重県	日帰り	三重県
世界遺産「熊野古道」を海、山、川で体感する	大川 勝宏	三重県	2泊3日	三重県
仏教の伝来から民衆の信仰を得るまでの旅	瓦谷 光男	大阪府	1泊2日	奈良県、京都府
再発見！日本の精神文化のルーツをたどる旅	倉田 直純	三重県	2泊3日	三重県
芭蕉とともに花の吉野をめざす旅	坂口 守彦	奈良県	5泊6日	三重県、和歌山県、奈良県
太平記「南朝」ゆかりの地を訪ねて	鈴木 久幸	三重県	3泊4日	三重県、京都府、奈良県
近畿(関西)の世界遺産を巡る旅	炭山 卓	大阪府	コースにより日 帰りから2～3 泊と3～4日十 分楽しめます。	兵庫県、和歌山県
知られざる秘境 和歌川～日本人の魂を揺るがしてきた自然と文化を訪ねて～	平 千枝	東京都	4泊5日	和歌山県
深遠なる山里に立つ古寺・史跡を訪ねることで、普遍的な人間の心理と本質を知る。	高山 憲行	埼玉県	1泊2日	奈良県
熊野古道を歩き、日本の精神文化を肌で感じる旅(自然の中に神を見出す)	寺前 俊二	和歌山県	3泊4日	和歌山県
神をたのしみ、茶をたしなむ…国際派大和撫子を目指して…	西川 朋子	東京都	2泊3日	京都府
大人の旅(日本の原風景を訪ねて)	平井 俊行	京都府	2泊3日	京都府
学問のまち大阪を歩く	前田 容子	兵庫県	日帰り	大阪府
歴史と文化の相互関係を見聞する世界遺産の旅	茂垣 収	埼玉県	6泊7日、5泊6 日	京都府、奈良県、和歌山県
～映画が伝える伊勢志摩の思い出～各作映画の舞台を感じる旅	伊勢志摩フィルムコミッション (木田 久圭一)	三重県	2泊3日	三重県
湖北観音のんびり自転車の旅	近江歴史回廊推進協議会 (白井 千夏)	滋賀県	1泊2日	滋賀県
残したい京職人の首風景をたずねる旅。	地産地消クラブ (酒井 晶正)	富山県	半日	京都府
茶道の源流と国際性を探る	鳥取県立青谷高等学校地歴公民科有志 (関 俊徳、澤田 純路、岸田 道明)	鳥取県	0泊1日	大阪府、京都府

旅のテーマ	氏名 (代表者名)	住所	日数	訪問先都道府県
<b>近畿地方(28プラン)(続き)</b>				
'近くて遠い国、から'近くて近い国、へ	奈良県企画部観光交流局観光課 (久保田 幸治)	奈良県	2泊3日	奈良県
大和の古道紀行・ロマンと癒しの旅 山の辺の道・多武峯街道・磐余の道・伊勢街道・忍坂街道・大和長寿道	林 勤	奈良県	1日	奈良県
いにしえの人々に思いを馳せる、癒しの旅	東紀州地域活性化事業推進協議会 (千代世 正人)	三重県	2泊3日	和歌山県
ほっこり京都・寺社仏閣ユニバーサルツアー	ふれあいの会 アンド 明石高専建築学科大塚 ゼミ (大塚 毅彦)	兵庫県	1泊2日	京都府
古窯に日本の陶磁器産業の源流をたずねる旅(再掲)	河野 いわお	愛知県	3泊4日	岐阜県、愛知県、滋賀県
世界文化遺産白川郷と日本の匠の技を訪ねる旅(再掲)	志摩 泰子	静岡県	4泊5日	岐阜県、石川県、福井県、 滋賀県、愛知県
若狭と湖北の歴史・文化・まちづくり ほっとやすらぎの旅(再掲)	松見 忠昭	福井県	1泊2日	京都府、福井県、滋賀県
悠久の時間を超えて人を魅了する歴史遺産と美食の郷(再掲)	社団法人 若狭湾観光連盟 (濱岸 利一)	福井県	2泊3日	京都府、福井県
わが国最古の鉄道物流ルートを行く(再掲)	西日本鉄道考古学会 (草木 陽一)	大阪府	2泊3日	京都府、滋賀県、福井県

旅のテーマ	氏名 (代表者名)	住所	日数	訪問先都道府県
<b>中国地方(8プラン)</b>				
穴戸の里をたずねる旅	青田 旭	広島県	1泊2日	広島県
岡益の渡来入 - 鳥取の古代遺跡と渡来集団を尋ねて -	岩谷 東亜	鳥取県	1日	鳥取県
'ものがたり'のある美術館を訪ねて - 吉備の国+ (きびのくに) プラス 編 -	大西 珠枝	東京都	2泊3日	岡山県、香川県
益田・津和野・萩の歴史的な場所を巡る旅	大畑 絢弓	神奈川県	2泊3日	山口県、鳥根県
宣教師ザビエルの足跡とキリシタン文化をたずねる旅	籠手田 恵夫	長崎県	6泊7日	鹿児島県、熊本県、長崎県、 福岡県、山口県
幕末長州藩・時代を変えた若者達の熱氣を辿る旅 - 高杉晋作の足跡を辿る	佐野 和美	神奈川県	2泊3日(理想的 プランを組み 込むと4泊5日)	山口県
石見の国に柿本人麻呂の足跡をたどる	清水 克彦	京都府	2泊3日	鳥根県
体験と学び	行って楽しい、迎えて嬉しい石見銀山NPO (戸田 隆徳)	鳥根県	1泊2日	鳥根県
<b>四国地方(6プラン)</b>				
四国の城を'へんろ'する	北山 健一郎	香川県	3泊4日	香川県、愛媛県、高知県、 徳島県
夏の夜のカーニバル阿波おどりと藍染めのふるさとを訪ねる旅	志摩 泰子	静岡県	1泊2日	徳島県
癒される旅'奥四万十で田舎人になる'	奥四万十元氣源流 大正美人の会 (山本 紀子)	高知県	2泊3日	高知県
源平屋島合戦 光と影の武士(もののみ)達	源平広域まちづくり推進プロジェクト (細谷 清)	香川県	1泊2日	香川県
別子銅山の近代産業遺産と花めぐりの旅	新居浜市 (市長 佐々木 龍)	愛媛県	2泊3日	愛媛県
'ものがたり'のある美術館を訪ねて - 吉備の国+ (きびのくに) プラス 編 - (再掲)	大西 珠枝	東京都	2泊3日	岡山県、香川県

旅のテーマ	氏名 (代表者名)	住所	日数	訪問先都道府県
<b>九州地方(16プラン)</b>				
北九州市と周辺の、弥生時代から現在までの歴史と文化をたずねる旅	有田 泰彦	神奈川県	6泊7日	福岡県
魏志倭人伝の謎解き旅	伊藤 治雄	愛知県	1泊2日、2泊3 日	長崎県、大分県、宮崎県
歴史と祭祀の源流に触れる旅	尾上 博一	長崎県	1泊2日	長崎県
世界遺産'琉球のグスク群、探訪 - 琉球の二人の英雄を訪ねて -	金城 勇	沖縄県	2泊3日	沖縄県
'沖縄の歴史と文化を考える旅(本島とその周辺)'	川合 晃代	静岡県	5 - 8日	沖縄県
日本の二代宗教 神道と仏教の習合(神仏習合)を、温泉を楽しみながら巡る旅	西園寺 公輝	大分県	2泊3日から長期 計画も可	大分県
日本近代化のさががけ・長崎県の近代化遺産を巡る旅	長池 一徳	長崎県	1泊2日	長崎県
'心のふるさと、めぐり - 美しい小さな田舎の歴史と文化の旅	萩原 真由美	大分県	2泊3日	大分県、福岡県
豊かな自然の恵みから生まれたお茶の名産地、八女・嬉野・東彼杵への旅	村山 拓男	長崎県	1泊2日	佐賀県、福岡県、長崎県
キリシタンの道 島原・天草	山下 留美	鹿児島県	3泊4日以上	長崎県、熊本県
志に生きた若者たちの軌跡 - 西南戦争から欧化教育へ	熊本大学 政策創造研究センター (上野 真也)	熊本県	2泊3日	熊本県
城下町と信仰の里を巡る旅	山田 直行	愛知県	2泊3日	大分県
紅葉と伊都国古代ロマンの旅	前原市教育委員会文化課 (鬼木 武信)	福岡県	1日	福岡県
宮崎県内の神話ゆかりの地を巡る旅...日本人のルーツを訪ねて...	宮崎市神話の語り部ガイドボランティア協議会 (湯川 英男)	宮崎県	3泊4日	宮崎県
日本の海外交流の軌跡を九州に訪ねて(再掲)	生熊 文	ドイツ	10泊11日	福岡県、佐賀県、長崎県、 熊本県、鹿児島県、宮崎県、 大分県、山口県、京都府
宣教師ザビエルの足跡とキリシタン文化をたずねる旅(再掲)	籠手田 恵夫	長崎県	6泊7日	鹿児島県、熊本県、長崎県、 福岡県、山口県

旅のテーマ	氏名 (代表者名)	住所	日数	訪問先都道府県
<b>全国(三地方以上)(7プラン)</b>				
万葉の旅	奥井 康矩	広島県	2泊3日	奈良県
			2泊3日	京都府、滋賀県
			2泊3日	和歌山県、大阪府、兵庫県
			2泊3日	三重県、愛知県、静岡県、 神奈川県
			2泊3日	東京都、埼玉県、千葉県、 茨城県
			2泊3日	岐阜県、長野県、群馬県
			2泊3日	福井県、石川県、富山県
2泊3日	広島県、鳥根県、鳥取県			
2泊3日	福岡県、長崎県			
日本列島と大陸を結ぶ、海の道を訪ねる旅。	桂川 光和	岐阜県	第1: 4泊5日 第2: 2泊3日 第3: 2泊3日	福岡県、長崎県、佐賀県、 山口県、広島県、岡山県、 兵庫県、大阪府
"Japan"を訪ねる旅	曹野 淳一	福岡県	10泊11日	沖縄県、京都府、福井県、 石川県、栃木県、東京都
松尾芭蕉の'奥の細道'をたどる旅	佐々木 清人	秋田県	13泊14日	栃木県、埼玉県、福島県、 宮城県、岩手県、山形県、 新潟県、富山県、石川県、 福井県、岐阜県、東京都
木造建築の伝統文化にふれる旅	滝井 恵	東京都	10泊11日	東京都、新潟県、京都府、 奈良県
20世紀初頭、外国人建築家が見た日本をめぐる旅	渡辺 恭伸	埼玉県	6泊7日	長野県、群馬県、福井県、 京都府、愛知県、静岡県、 神奈川県、東京都
縄文の時代を尋ねて	横手興入野高校46期同会有志 (鈴木 捷)	兵庫県	5泊6日	青森県、北海道、秋田県、 新潟県、福井県

### **3. 大賞及び特別賞の概要について**

「わたしの旅 ～日本の歴史と文化をたずねて～ 2005」大賞及び特別賞一覧

賞	旅のテーマ	応募者名	訪問先 都道府県	時代区分	旅の概要
大賞	”Japan”を訪ねる旅	菅野 淳一	栃木県, 東京都 石川県, 福井県 京都府, 沖縄県	室町, 安土桃山 江戸	日本の代表的な伝統工芸の一つである「漆器」(Japan)の産地をめぐる旅 沖縄県(色鮮やかな琉球漆器) 京都府(わび・さびの京漆器) 福井県(歴史ある越前漆器) 石川県(日常生活で使用される山中漆器, 高級な輪島漆器) 栃木県(木彫りの日光漆器) 東京都(東京国立博物館 国宝級・重文級の漆器)
特別賞	旧石器時代を体験する旅 / オホーツクの古代遺跡を訪ねて	NPオホーツク・クラスター 湧別川流域研究会	北海道	旧石器, 縄文 弥生, 古墳 飛鳥, 奈良 平安, 鎌倉	旧石器時代から縄文時代, 続縄文時代, 擦文時代などを巡る旅。白滝遺跡の周辺は黒曜石の産地であり, ここで作られた石器は, 日本各地や遠くシベリアからも発見され, 我が国の石器時代を考える上で興味深い。
	ひな街道に行く	山崎セツ子	山形県, 新潟県	江戸, 明治	毎年3月に開催されている「酒田雛街道」(酒田市), 「鶴岡雛物語」(鶴岡市), 「町屋の人形さま巡り」(村上市)を時期を合わせて巡る旅。 様々な人形が比較でき, 飽きがこず, 幅広い層にお勧めできる。
	分水嶺を越えて, 古い町並みジグザグ紀行	奥野 直子	長野県, 岐阜県 富山県	江戸, 明治	中部地方の分水嶺を越えて, 古い町並みを, 鉄道や公共バスを乗り継いでゆっくり訪ねていく旅。奈良井宿から, 妻籠・馬籠を経て, 岩村を抜け, 世界遺産である白川郷・五箇山の合掌造り集落を見て, 高岡, 伏木に至るといふ, 渋めの旅。
	世界文化遺産白川郷と日本の匠の技を訪ねる旅	志摩 泰子	岐阜県, 石川県 福井県, 滋賀県 愛知県	奈良, 安土桃山 江戸	外国人を案内することを念頭に立てられた旅。中部・北陸地方を巡り, ろうそく, 山車のからくり仕掛け, 合掌造り, 漆器, 陶器, 和紙, ガラス細工, 染め物と, 我が国の伝統あるものづくりを巡る。
	世界遺産「熊野古道」を海・山・川で体感する	大川 勝宏	三重県	神話, 飛鳥 平安	世界遺産熊野古道周辺を, 海, 山, 川から堪能する旅。 海の道(鬼ヶ城などの奇岩奇勝) 山の道(丸山千枚田) 川の道(カヌー体験による川下り)
	万葉の旅	奥井 康矩	京都府, 奈良県など 25都府県	飛鳥, 奈良 平安, 鎌倉 室町, 戦国 安土桃山, 江戸 明治	日本各地の万葉の句碑を訪ね回る旅。北海道・東北を除く地域をくまなく巡る旅。吉野地方をはじめ, 万葉の歌にゆかりのある地方を, 9つのコースに分けることで, 無理なく訪れることができる。
	20世紀初頭, 外国人建築家が見た日本をめぐる旅	渡辺 恭伸	群馬県, 京都府など 8都府県	大正, 昭和 平成	ブルーノ・タウト, フランク・ロイド・ライトなど, 20世紀に外国人建築家が我が国で設計した建物を巡るというテーマに独自性のある旅。20世紀初頭に来日した外国人が見た近代日本の姿を通じて, 近代日本を考える。
	キリシタンの道 島原・天草	山下 留美	長崎県, 熊本県	江戸, 明治 昭和, 平成	天草地方のキリシタン信仰に加え, 雲仙普賢岳などの自然も楽しめる欲張りな内容を, 日程的にうまくまとめた旅。島原, 雲仙普賢岳を経て, 天草地方においてキリシタン信仰に触れる。
	歴史と祭祀の源流に触れる旅	尾上 博一	長崎県	縄文, 弥生 室町, 戦国 安土桃山, 江戸	亀ト神事や赤米神事など対馬独特の伝統と文化に触れる独創的な旅。式内社などを実際に巡ることで, 対馬独特の文化に触れることが魅力的であり, 日本における文化の多様性に触れる。

# “Japan”を訪ねる旅

(提案者：菅野 淳一)

## 旅の趣旨

今回訪ねる“Japan”とは「漆器」を意味している。“Japan”と呼ばれる漆器こそ日本を代表する工芸品といえることができる。

日本では、古代より、建物や生活道具にふんだんに木を利用しているが、さらに漆を塗布することで素材の保存性や強度を高め、さらに沈金や蒔絵などを施し芸術性も高めてきた。

イギリスに訪問した折、お土産に漆器のスプーンを持参したところ大変喜ばれ、「漆器こそがまさに典型的な日本文化である」と言われたことがある。

そのような日本文化を代表する漆器の主要な生産地に、多くの方をできるだけ案内し、「見る」だけではなく、実際に「使う」、その歴史を「知る」、専門家から科学的・技術的に「聞く」ことを体験してもらいたい。その体験をもとに、特に海外で食器や生活品の小売り・流通業に携わっている人たちには、ヨーロッパなどで“Japan”ブームを巻き起こしてもらいたい。

## 旅の対象者

ヨーロッパで食器や生活品小物類の小売や流通に関連する事業者の方々

## 旅の日数

10泊11日

## 旅の時期

特に季節は問わないが、イメージとしては秋が最も合う季節と考える。

「朱」や「黒」の地に、鮮やかな色彩の模様を付けることから、「紅葉の鮮やかな秋」がイメージとして最も合うと思われる。

## 選考理由

- 日本を代表する伝統工芸品である漆器の日本各地の産地をたずね、それぞれの特色に触れたり、それらを比較することで理解をより深めることのできる興味深いプランである。
- 各地の工芸館・技術研修所など技術の体験施設が豊富にピックアップされており、楽しい内容となっており、事業者だけでなく、一般の人にも漆器について十分に学ぶことができる。
- 提案された旅程は長期にわたっているが、大きく沖縄、近畿北陸地域(京都、福井、石川)、関東地域(東京、日光)に分けることができるので、例えば3回に分けて旅ができるなど、柔軟性に富んでいる。
- 漆器という具体的な器物を対象としており、その英語訳も“Japan”ということで、外国人へのアピール度が高い。

## 旅程

### 4. 山中漆器(石川)

- ①石川県立山中漆器産業技術センター、石川県挽物ろくろ技術研究所において、木を加工する工程を見る。
- ②山中漆器伝統産業会館で、琉球漆器や京漆器とは異なる、一般の生活品としての漆器をみる。
- ③漆をふんだんに使ったロビーのある山中座に宿泊。

### 3. 越前漆器(福井)

鯖江市にある越前漆器伝統産業会館で漆器製作の実演を行程ごとに見学する。

### 2. 京漆器(京都)

- ①高台寺掌美術館で、高台寺蒔絵を見る。
- ②京都国立博物館で国宝の蒔絵手箱など、豊富な作品をみる。
- ③京都市産業技術研究所などで京漆器の特徴について技術的・科学的な面から研修する。
- ④平安神宮、伏見稲荷神社などで漆を利用した有名な木工建築物をみる。

### 5. 輪島漆器(石川)

- ①石川県輪島漆芸美術館、輪島漆器資料館で高級漆器、重要無形文化財保持者の作品などを見る。
- ②輪島温泉の「たなか」に宿泊し、輪島塗の食器を使った食事を堪能する。

### 6. 日光漆器(栃木)

- ①日光木彫りの里工芸センターで、日光漆器の特徴である木彫りの技法を見る。日光彫りの体験をする。
- ②うるし博物館で漆塗り体験をする。
- ③日光東照宮、日光二荒山神社などで漆建造物を見る。

### 7. 漆器芸術見学のまとめ

最後は、国宝・重要文化財が並ぶ上野の東京国立博物館で、漆器芸術見学のまとめを行う。

### 1. 琉球漆器(沖縄)

- ①浦添市立美術館で、中国漆器の技法を取り入れたといわれる琉球漆器の技術を堪能する。「沈金」「螺鈿」「箔絵」「堆錦」の漆器を見る。
- ②那覇市伝統工芸館の漆器工房で制作行程をみる。
- ③首里城で建物内部の漆の最高芸術を鑑賞。

# 旧石器時代を体験する旅／オホーツクの古代遺跡を訪ねて

(提案者：NPオホーツク・クラスター湧別川流域研究部会)

## 旅の趣旨

北海道の白滝遺跡群には、今からおよそ2万5千年前の旧石器時代の遺跡が90カ所以上も点在している。また、白滝は世界第一級の黒曜石原産地であり、赤石山一帯には埋蔵量数十億トンとも言われる黒曜石の露頭が見られる。

この旅には2つの行程があるが、行程1では、郷土館や遺跡発掘地点を訪ねることで、旧石器時代について学ぶとともに、赤石山の黒曜石の露頭の見学、黒曜石の採取、その石を使った石器作りの体験を通じて、白滝の旧石器時代の歴史と文化に触れて欲しい。

また、行程2では、白滝の旧石器時代を含む、オホーツク地域の各時代の歴史と文化を学べる旅となっている。

## 旅の対象者

日本の古代史サークル、体験学習を行いたい親子、修学旅行生、夫婦など

## 旅の日数

行程1：2泊2日、行程2：5泊6日

## 旅の時期

6月から9月上旬、春から初秋にかけて

## 選考理由

- 歴史的にいわゆる日本文化と異なる文化に属していた北海道、特にその雰囲気強い道東の自然遺産と文化遺産を巡る、他には無い旅のプランである。
- オホーツク地域の各時代の文化（縄文・続縄文・擦紋・オホーツク）の代表的遺跡を巡ることで、この地域の歴史と文化を学ぶことができる。

## 旅程

### 行程2

#### 旧白滝村

**白滝遺跡群、赤石山**  
白滝遺跡群、赤石山の黒曜石の露頭群を見学・石器作りを体験。

#### 常呂町

##### ところ遺跡の森

常呂町から出土した縄文文化・続縄文文化・擦紋文化・オホーツク文化の各文化の資料が豊富。竪穴式住居を再現したものも展示。

#### 網走市

##### モヨロ貝塚

オホーツク文化の代表的遺跡。

##### 網走郷土博物館

モヨロ貝塚の出土品等を收藏。

##### 道立北方民俗資料館等

オホーツク文化人と擦紋文化人の関わり等を学ぶことができる。

#### 斜里町

##### 朱田周堤墓

縄文時代後期末の集団墓地。墓をめぐる土堤が環状に築かれている。

##### 斜里町郷土知床博物館等

朱田周堤墓の出土品の他、知床の歴史・自然等を学ぶことができる。



### 行程1

#### 白滝村郷土館

白滝遺跡群の出土資料約1,000点と、大正・昭和初期の村の開拓資料などを展示。

#### 遺跡発掘地点（幌加沢遠間地点）

1954年に調査開始。調査は10次に及び、約40万点を超す資料が発掘されている。

#### ●1泊目：悠遊塾

#### 赤石山

標高1,147m。標高800m～1,000mに黒曜石の露頭群がある。

#### 悠遊塾

白滝の自然体験や石器作り体験等ができる宿泊施設。ここで石器作りを行う。

#### ●2泊目：悠遊塾

# ひな街道を行く

(提案者：山崎 セツ子)

## 旅の趣旨

北陸の日本海側はあまり華やかさがあるとは思われていない。どちらかと言えば、日本海の暗さや冬の雪深さなどがまず頭に思い浮かぶのではないだろうか。しかし、かつて、この地方は北前船の寄港地として栄え、中には日本全国に知られるような大商人も現れた。また、現在まで城下町の趣もよく残っており、温泉も楽しめるという地である。

特に、毎年3月頃には、この地方において、大名家、大商人、町屋の古くからのひな人形など様々な人形が一般に公開され、それぞれ特色があって人々の目を飽きずに楽しませる。たくさんの人に見てもらうことが嬉しいという地域の人々の気持ちが伝わってくるし、たくさんの人形を見ていると歴史の重みを感じる。

**旅の対象者** 友人同士(特に女友達同士) **旅の日数** 2泊3日

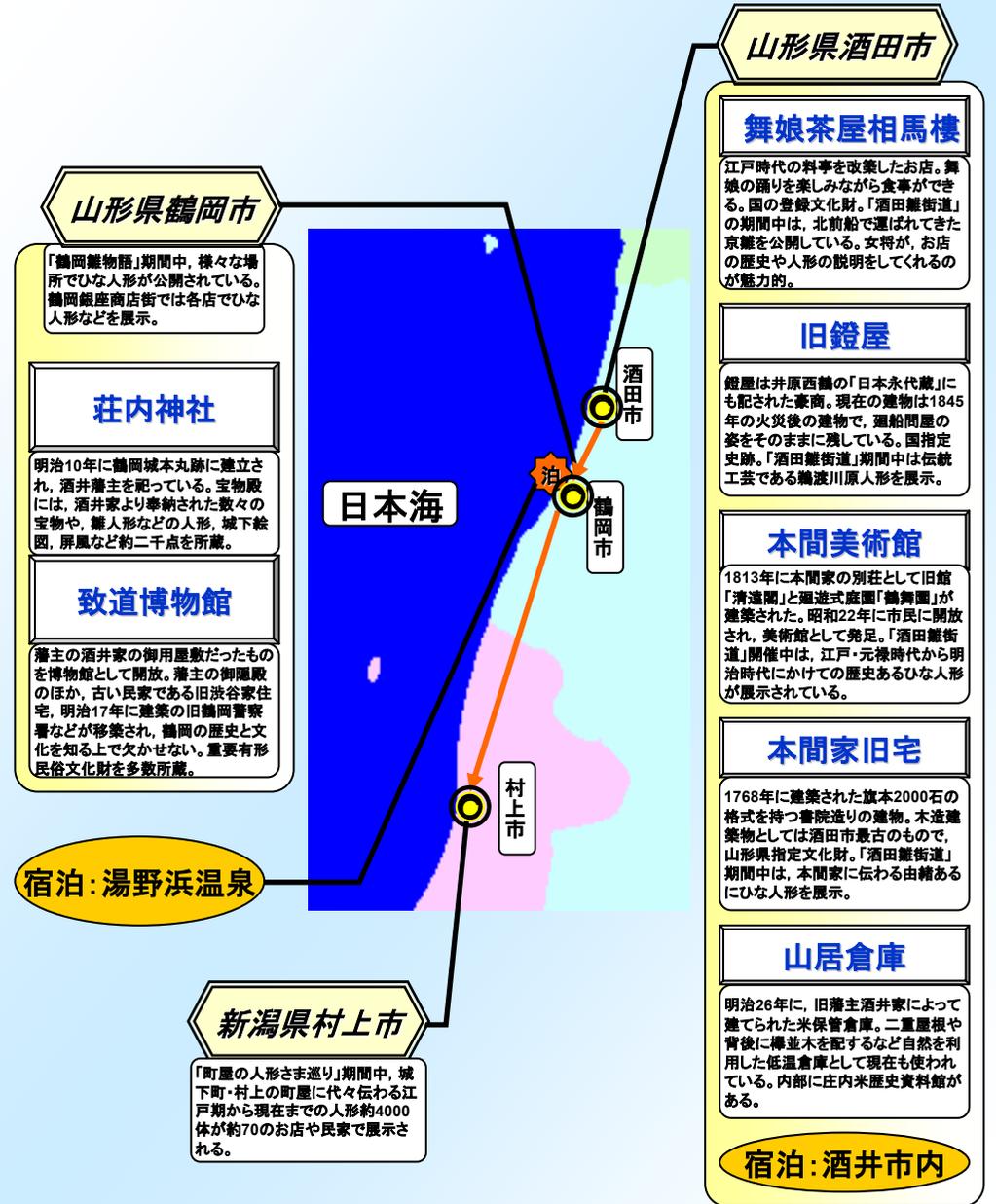
## 旅の時期

3月 酒田市(山形県)、鶴岡市(山形県)、村上市(新潟県)において、この時期にひな人形を一般公開しているから。

## 選考理由

- ひな人形など人形という伝統工芸に着目して、酒田から鶴岡、村上にかけての地方の歴史を見ていく点がユニークな旅である。大名家大商人、町屋という社会層の人形を比較できる点でもおもしろい。
- 旅行すると、その場所を経験したくなるものである。このプランは、地域の景色、地元の日常生活、地域の文化などを気軽に味わうことができる。旅行者の性別や年代にこだわらないプランである。

## 旅程



# 分水嶺を越えて、古い町並みジグザグ紀行 (提案者：奥野 直子)

## 旅の趣旨

この旅では、木曾川(木曾路)、飛騨川(飛騨路)、庄川、それぞれの川筋に沿って、日本の古い町並みを訪ねる。  
 東京(太平洋側)を始点に、内陸をジグザグに移動し、日本海側へと抜ける旅なので、何度か分水嶺を越えることになる。  
 分水嶺を境に、一方の川は日本海へ、もう一方の川は太平洋へと、流れの方向を変えるため、日本という国が中央に背骨のような山脈を連ねた島国であることを実感することができる。また、分水嶺が時には各地の自然や文化を隔てていることにも気づく。  
 旅することの大きな収穫は、旅行中に得る知識ではなく、旅行後に、訪れた土地が身近に感じられるようになり、その土地のニュースに興味を持てるようになることだと考える。  
 そんな距離感の縮まる旅をしたい。

## 旅の対象者

夫婦(不便な旅を苦にしない人とともに)

## 旅の日数

4泊5日

## 旅の時期

四季を問わず

実際に旅をしたのは夏であったが、春には深緑の、秋には紅葉の、冬には雪景色の魅力がある

## 選考理由

- 中山道の分水嶺を越えながら、日本海側と太平洋側、江戸と京を結びイメージの本州の中心の旅として地域を絞ってコンパクトにまとめられており、文化形成の重要なファクターである地域交流の歴史について大きな示唆を与えてくれる。
- 木曾路から岩村・美濃・太田・高山・高岡など江戸時代を感じさせる古い町並みを訪ねる行程はすばらしい。

## 旅程

**高岡市山町筋重要伝統的建造物群保存地区**  
 山町筋の町並みは明治33年の大火後の建物のため、防火性のある土蔵造りの町屋が立ち並ぶ。また、金屋町は高岡鑄物発祥の地で、千本格子の家並みが続く。

**伏木**  
 伏木は北前船で栄えた港町。廻船問屋として栄えた旧秋元家住宅の「北前船資料館」などに立ち寄るのも良い。

**世界文化遺産・重要伝統的建造物群保存地区 (上平村菅沼・平村相倉)**  
 上平村菅沼集落及び平村相倉集落を巡る。白川郷・五箇山の集落はいずれも庄川沿いに位置し、養蚕と煙硝で生計を立てていた山間集落という点で似ているが、実際の集落の様子は三者三様であった。

**榑川村奈良井重要伝統的建造物群保存地区**  
 奈良井宿の南側にある「鳥居峠」は、奈良井川と木曾川の分水嶺。奈良井川はやがて千曲川と合流して日本海へ、木曾川は太平洋へ向かう。奈良井宿は、木曾路にありながら信州色が濃い印象を受ける。

**世界文化遺産・白川村荻町重要伝統的建造物群保存地区**  
 重要文化財に指定されている「和田家」、耐震性のある「コマジリ」という構造を持つ「神田家」などでは、養蚕と煙硝の生産で暮らしを立てていた合掌造りの民家の暮らしを感じることができる。

**南木曾町妻籠宿重要伝統的建造物群保存地区**  
 木曾路の中山道は、大部分が木曾川に沿って走っているが、南木曾一中津川間は、木曾川から離れて内陸を迂回している。後に国道が木曾川に沿って建設されたため、妻籠宿は取り残された形になったため、旧街道の面影をしのぶことができる。

**高山市三町重要伝統的建造物群保存地区**  
 飛騨の城下町、後に天領となり町人町として栄えた飛騨高山の町並みを歩く。重要文化財「日下部芸芸館」や「吉島家住宅」がある。

**岩村町岩村本通り重要伝統的建造物群保存地区**  
 岩村城が廃城となった後も、活気ある商人たちが町を支え、その豊かな財力で岩村電気鉄道を開通させ(今は阿木川ダムの下に沈んでいる)、周辺の木材などの物資を集積させて発展してきた。

# 世界文化遺産白川郷と日本の匠の技を訪ねる旅 (提案者：志摩 泰子)

## 旅の趣旨

以前、アムステルダムに暮らしていたとき、わたしのまわりの友人は、堅実で合理的な反面、ハンドメイドや手仕事に価値を認める優しい人たちだった。

このような友人に日本を案内するなら、どんな旅にすればよいのかと考えてみた。その結果、日本の匠と呼ばれる人の技ややさしく暖かい手仕事を紹介しながら、素朴な日本の暮らしやたたずまい、また美しい日本の祭をもちこんだ旅になった。

**旅の対象者** かつて5年余りを過した外国の友人

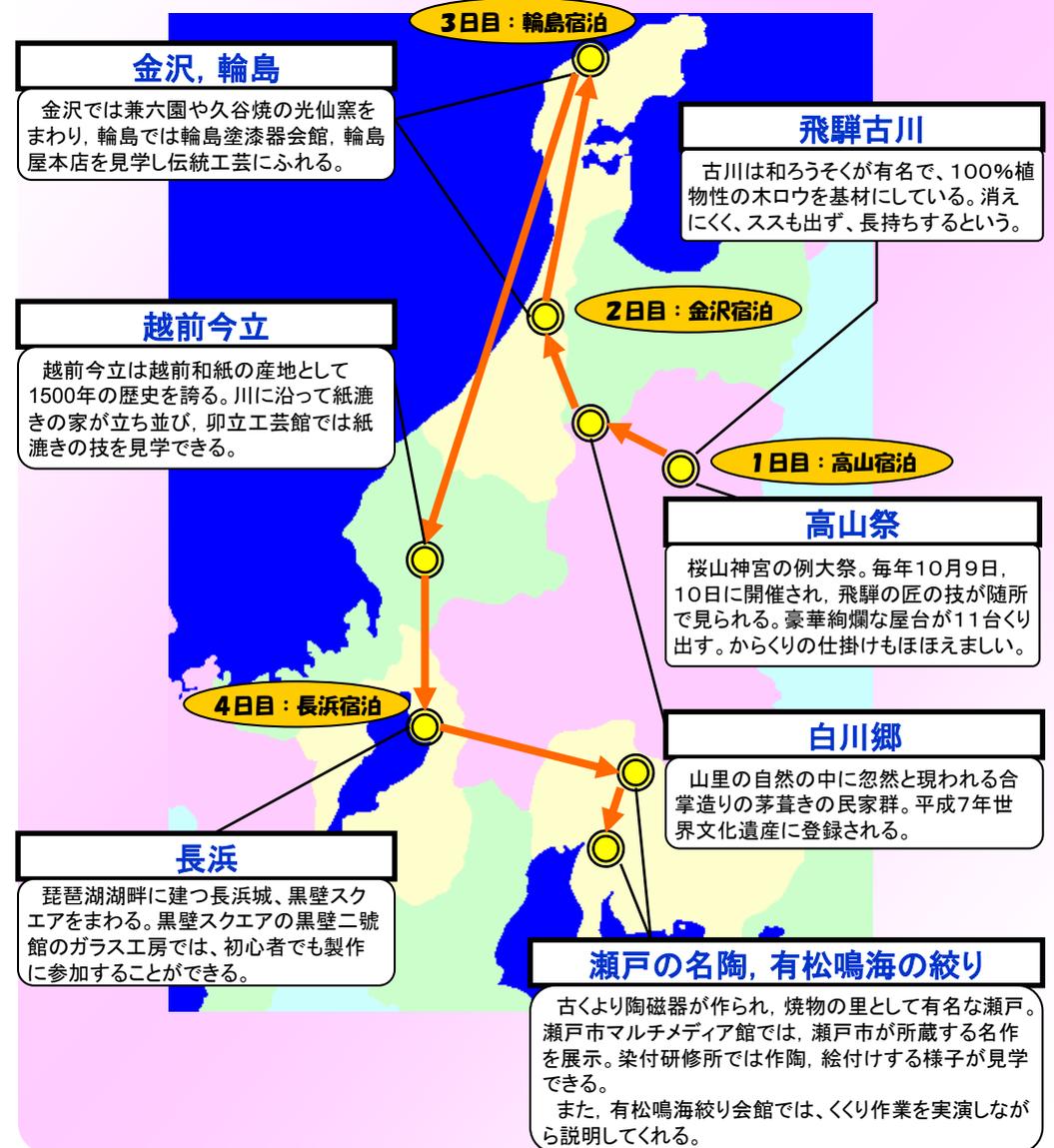
**旅の日数** 4泊5日

**旅の時期** 毎年10月9日、10日に行われる秋の高山祭りにあわせて

## 選考理由

- **世界遺産の白川郷と日本の匠の技を訪ねるという目的が旅程の中でよく生かされているほか、飛騨高山、金沢、輪島、瀬戸を巡り、木工、和紙、陶器など、日本の特色ある伝統技術を深く体験できる。**
- **交通の便も悪くなく個人でまわるのが難しくない。外国人だけではなく、日本人にも世界に誇れる高度な技と美しい文化に触れることができ、充実した旅になると思われる。**

## 旅程



# 世界遺産「熊野古道」を海・山・川で体感する (提案者：大川 勝宏)

## 旅の趣旨

平成16年に世界遺産に登録された「紀伊山地の霊場と参詣道」は世界で2番目に登録された「道」の世界遺産であるが、この中でも三重県南部の紀南地域では、海の道、山の道、川の道の全てに触れることができる。

景勝地や熊野三山など、霊場と合わせて今回登録された世界遺産の良いところを、まとめて体感できる旅となっている。

## 旅の対象者

恋人同士、若い親子連れ

## 旅の日数

2泊3日

## 旅の時期

5月～10月 熊野川の川下りに最適のシーズンだから

## 選考理由

- 平安時代から信仰を集めている「熊野古道」を歩くだけでなく、熊野川の川下りを盛り込むことにより、歴史的にも新しい観点からの「熊野古道」を発見することができる。
- 世界遺産に登録された最新の情報で「熊野古道」をテーマに取り上げ、「海の道」「山の道」「川の道」を歩くことによって、太古からの自然と触れ合うとともに、いにしえからこれらの道を通った人々に思いを馳せることができる旅である。また、このコースを体感してほしいといういざないに強い意欲を感じる。

## 旅程

### 熊野速玉大社

本宮、那智とともに熊野三山の一つ。景行天皇の時代に社殿を造営したと伝えられ、主神は速玉大神。

速玉大神を祭る速玉宮の社殿は切妻正面に庇を付けた独特の熊野造で、前に礼殿が立つ。参道には、平重盛が植えたといわれる樹齢1000年のナギの巨木(天然記念物)がある。

### 熊野川カヌー体験

熊野川

泊

泊

### 丸山千枚田

紀和町山間に広がる棚田の斜面。「一目千枚」といわれるほど、1340枚もの水田が段々になって並んでいる光景は壮観。

1601年(慶長6)には200枚以上の水田があったという。

宿泊：紀和町

### 紀宝町 ウミガメ公園

ウミガメの産卵地として有名。ウミガメの資料館や飼育館、ビデオコーナーやパネル展示が設けられている。

### 熊野市駅発

#### 鬼ヶ城

国の名勝・天然記念物。波の侵食と数回の大地震で隆起した凝灰岩の大岩壁。

長さ約1kmの間に大小無数の洞窟が階段状に並んだ奇岩奇勝で知られている。

#### 獅子岩

国の名勝・天然記念物。海岸の隆起と海蝕現象によって生まれた奇岩で、高さ25m、周囲210mの巨岩があたかも熊野灘に向かって咆える獅子のように見えるところから日本のスフィンクスと呼ばれている。

#### 花の窟

花の窟は日本書紀の神代第一で「国産みの舞台」として登場している。

この地は熊野三山信仰に先立つ古代からの聖地「窟の熊野」として重要な意味を持っている。

宿泊：熊野市内

太平洋

# 万葉の旅

(提案者：奥井 康矩)

## 旅の趣旨

万葉集は日本人の魂を伝える文学、歴史、風土であると同時に、数限りない旅の歌が収録されていて、まさに日本人の旅の原点といえる。そこには、官人の旅、遣唐使の旅、防人の旅、個人の旅等たくさんの旅が収められ、旅の歌はみずみずしく、おおらかで、生命力に満ち溢れている。

また、日本人の旅は万葉集以降、歌即ち「歌枕」の旅へと継承され発展していき、西行、宗祇、そして松尾芭蕉へとつながる先人の歌枕を訪ねて旅をするという日本人の旅の伝統、真髓が形成されることとなった。

本プランは全国を9ブロックに分け、万葉集の世界を時間をかけて丁寧をめぐる旅である。日本人の原点、日本文化の源流である万葉集の旅をすることにより大和人の魂にふれ、私たちの先祖が築き上げた遺産を深く理解して、感性豊かな日本人になる一助になればと考える。

**旅の対象者** 夫婦、友人、一人旅、学生 **旅の日数** 2泊3日

## 旅の時期

- ②春(秋) 当時の旅人の苦勞を体験する意味で逢坂山峠を歩いて越えるのには、服装の軽い春(秋)が良いから。
- ③秋(10月) 山部赤人が「和歌の浦」の歌を詠んだのが10月だから。
- ④秋(11月) 薩埵峠より富士を見るために気候条件として11月初めが良いから。
- ⑤秋(10~11月) 筑波山に登り遠く関東平野を眺望するのに良いから。
- ⑥秋(9~10月) 初秋の爽やかな高原の風にふれられるから。
- ⑦初冬 大伴家持の歌にある雪をいただいた立山を見れるから。
- ⑧(10~11月) 山陰の岩見の海岸、秋風に打ち寄せる波が柿本人麻呂の相聞歌の舞台となっているから。
- ⑨春(梅花の季節) 太宰府天満宮に300種近くの梅の花がほころぶ時期だから。

## 選考理由

- **山辺の道、飛鳥・吉野の旅などポピュラーなところから、東海、東山、北陸、山陰、山陽の諸道、九州まで網羅されていて、幅広い人々の興味を満たしうる内容となっており、万葉文化を理解する上で優れている。**
- **一見平凡なテーマであるが、日本人の旅の原点があり、万葉集の世界を旅を通して五感で味わえ、足裏から古人の思いを感受できる。**
- **駆け足ではなく、徒歩やローカル線などを使って、ていねいに巡る旅は得るものが多い。**

## 旅程

<b>1. 大和・奈良 一山の辺の道 明日香・吉野</b>	大神神社、甘樫丘、天武・持統天皇陵、高松塚古墳、藤原宮跡、宮滝遺跡をめぐる旅。多くの歌が詠まれた地である <b>吉野</b> で桜を堪能。 「山川も依りて仕ふる神ながらたぎつ河内に船出せずかも」(柿本人麻呂)
<b>2. 近江・山城</b>	逢坂山峠、三井寺、大津宮跡、唐崎神社、瀬田の唐橋、石山寺、蒲生野、不破の関、恭仁宮跡をめぐる旅。 「楽浪の志賀の唐崎幸あれど大宮人の船待ちかねつ」(柿本人麻呂)
<b>3. 和歌山・大阪・兵庫</b>	<b>和歌浦</b> 、藤白坂(藤白神社)、難波宮跡、名次山神社、処女塚・求女塚、須磨浦公園をめぐる旅。 「わかぬ浦に潮満ち来れば濁を無み葦辺をさして鶴鳴き渡る」(山部赤人)
<b>8. 山陽・山陰地方</b>	鞆の浦、祝詞山八幡神社、出雲大社、岡田山古墳群、 <b>出雲国府跡</b> 、 <b>出雲国分寺跡</b> 、万葉歴史資料館、因幡国府跡をめぐる旅。 「石見のや高角山の木の隙よりわが振る袖を妹見つらむか」(柿本人麻呂)
<b>5. 東国(東歌の世界)</b>	武蔵国分寺跡、大國魂神社、飽富神社、鏡ヶ峰展望台、袖ヶ浦公園、鹿島神宮、 <b>筑波山</b> をめぐる旅。 「男の神に雲立ちのほり時雨ふり濡れ通るともわれ帰らめや」(高橋虫麻呂歌集)
<b>6. 東山道</b>	<b>袖坂峠</b> 、信濃国分寺跡、碓氷峠、多胡碑、榛名山、榛名湖、伊香保温泉、上野国分寺跡をめぐる旅。 「信濃道は今の聖り道刈りばねに足踏ましなむ春はけ吾背」(東歌)
<b>7. 北陸地方(越前~越中)</b>	若狭路、手結が浦、氣比神社、愛発の関、越前国府、味真野、和倉温泉、 <b>万葉歴史館</b> をめぐる旅。 「春の苑紅にほふ桃の花下照る道に出で立つをとめ」(作者不明)
<b>4. 東海~東国への旅</b>	伊勢神宮、あみの浜、伊良湖、二見の道、薩埵峠、足柄峠、湯河原をめぐる旅。 <b>薩埵峠</b> を越えた所では、雄大な富士が現われる。 「田子の浦ゆうち出でて見れば、真白にそ富士の高嶺に雪は降りける。」(山部赤人)
<b>9. 九州地方</b>	志賀島、大宰府政庁跡、観世音寺、筑前国分寺、太宰府天満宮、 <b>水城跡</b> 、万葉公園、安国寺、上見坂展望台、玉調の浦をめぐる旅。 「大夫と思へるわれや水茎の水城の上に涙拭はむ」(大伴旅人)

# 20世紀初頭，外国人建築家が見た日本をめぐる旅 (提案者：渡辺 恭伸)

## 旅の趣旨

この旅の趣旨は、①20世紀初頭に日本を訪れた外国人建築家(フランク・ロイド・ライト, アントニン・レーモンド, ブルーノ・タウト)と日本の関わりをたどること、②企業者が文化貢献をした歴史と今日的意義を、群馬県立近代美術館や、群馬音楽センターと群馬交響楽団の設立をすすめるなど、群馬県の文化の発展に大きな貢献をした井上房一郎に注目することで考えること、③建築そのものを見ることの3点にある。

この旅は、誰もがそれぞれの関心に応じておもしろいと感じるテーマを引き出せるものとなっている。また、外国人にとっても、70年前に欧米から来た人が、日本をどのように見ていたか、また、日本にどのような影響を残したかを知ることができる旅となっている。

## 旅の対象者

1人でも、同じ関心のある友人とでも良い。

## 旅の日数

6泊7日

## 旅の時期

特に限定は無い

## 選考理由

- 群馬県の文化の発展に尽力した井上房一郎に着目し、井上がブルーノ・タウトやアントニン・レーモンドなどの外国人建築家と交流した軌跡をたどるとともに、外国人建築家が見た近代日本の姿を再現する旅のプランである。
- 近代日本の文化の活力と特性を明らかにしようとする旅として評価できる。

## 旅程

### 軽井沢町

#### 星野リゾート

井上が別荘を持っていたリゾート施設。井上が、後の活動に影響を受けた信州の画家「山本鼎」と出会ったところ。

#### ペイネ美術館

レーモンドの別荘を移築、改造。フランス人画家レイモン・ペイネのコレクションを集めた美術館。

#### 聖パウロ協会

レーモンドが設計。軽井沢の名所となっている。

2日目：宿泊

### 京都市

#### 桂離宮

17世紀に作られた京都の名園。タウトが53歳の誕生日に訪れ、その感動を著書に表した。

4日目：宿泊

### 犬山市

#### 博物館明治村

各地の特徴ある明治建築が移築されている。ライト設計の帝国ホテルも一部保存されている。

5日目：宿泊

### 熱海市

#### 日向別邸

生糸の貿易などで財を成した「日向利兵衛」の別邸。タウトが設計。(タウトが日本に残した唯一の建築的実作)

6日目：宿泊

### 高崎市

#### 少林山達磨寺

高崎郊外の正月のだるま市で名高い寺。ナチスのドイツから逃れたタウトを井上が世話して、住まわせていた。

#### 群馬音楽センター

井上の尽力により、市民の寄付金で建設された。レーモンドが設計。

#### 群馬県立近代美術館 群馬県立歴史博物館

井上の尽力により、設立された。

#### 高崎哲学堂

井上の没後、邸宅を哲学堂に転用しているもの。

1日目：宿泊

フェリーで移動  
3日目：船内泊



新潟港

敦賀港

東京：旅の出発・終着点

横浜市

#### 横浜マリタイムミュージアム

横浜港を中心に、港と船をテーマに扱う博物館。ライトとレーモンドが入港したときの横浜港の様子をしのぶ。

#### 横浜港大棧橋

2002年に建設。現代の建築の最先端に触れる。

# クリシタンの道 島原・天草

(提案者：山下 留美)

## 旅の趣旨

日本にキリスト教が伝わって約450年。日本を訪れる外国人は、仏教関連施設を巡ることが多いだろうが、かつて日本を訪れた外国人宣教師の足跡や日本人のキリスト教信仰についても知って欲しい。また、長崎や天草には、隠れクリシタンの流れだけではなく、神社・仏閣も多く存在している。

日本人の宗教観が話題とされることが多い昨今、島原・天草の小さな漁村の教会での献身的なキリスト教徒の祈りに触れることで、異文化を自分たちの生き方に受容させてきた日本人の信仰観を考えたい。

くわえて、天草、島原地方の雄大な自然に触れることで、美しい日本を改めて感じて欲しい。

夕日を見つめて、切ない気持ちになったことはないだろうか。天草海岸で1人夕日を眺めることで、天草、島原の歴史や島の暮らしに思いをさせ、宗教とは何か、人生とは何かを考え、自分の生き方を改めて見直してはどうだろうか。

**旅の対象者** 一人旅、恋人同士

**旅の日数** 3泊4日

## 旅の時期

- ①4月上旬～中旬 菜の花や桜が旅人を温かく迎える季節だから。また4月中旬にハイヤ祭りが開催されるから。
- ②秋 空気が澄んで、遠くの島々まで見通せるから。

## 選考理由

- 雲仙、島原の見所をうまくまとめたプラン。島原のクリシタンの歴史、雲仙・島原の海の文化・雲仙普賢岳の火山災害といった個々の要素から、九州西海岸を一体として体感できる旅である。
- 島原、天草は、日本の特異な歴史が通り過ぎたところであり、旅をすると想像力が刺激される。美しい城下町・島原を多くの人に旅して欲しい。

## 旅程

**雲仙 普賢岳**  
普賢岳、国見岳、妙見岳などの総称。雲仙は昭和9年に日本初の国立公園に指定された。平成2年からの平成8年にかけての噴火活動で生まれた平成新山を眺めつつ、荒々しい自然の息吹を生で感じたい。

**島原城**  
1618年築城。明治7年に解体されたが、昭和35年から順次復元され、現在は、クリシタン資料及び郷土資料・民俗資料などを展示。島原城周辺は、町中に鯉が泳ぎ、武家屋敷が江戸時代の風情を残し、往事を偲ばせる。

**雲仙温泉**

**ソルトファーム 風力発電所**  
イルカも訪れる美しい海からとれる塩について学ぶ。美しい海や風力発電の風車を見ながら、自然や環境、エネルギーについて考えたい。

**富岡城跡 ビジターセンター**  
1602年に築城され、島原の乱では、クリシタン一揆勢の攻撃を持ちこたえた。平成17年にビジターセンターとして復元され、天草の自然と人々の生活、歴史などを紹介。本丸からの眺望は絶景。

**五足の靴 文学遊歩道**  
明治40年に、与謝野鉄幹、平野万里、木下杢太郎、北原白秋、吉井勇の5人の詩人が歩いた天草の山道の一部。明治の文学者の足跡をたどりたい。

**大江天主堂 天草ロザリオ館**  
フランス人のガルニエ神父が私財を投じて、昭和8年に建てられたロマネスク様式の白亜の聖堂。天草ロザリオ館で隠れクリシタンの歴史を探り、ガルニエ神父の遺徳を偲ぶ。

**崎津天主堂**  
昭和9年に建てられたゴシック様式の教会。内部が量産的なのが大変珍しい。小さな漁村の街並みとのコントラストが美しい。複雑に入り組んだ湾に山が迫る羊角湾の美しい風景も楽しみたい。

**がまだすドーム (雲仙岳災害記念館)**  
平成2年から平成8年まで続いた雲仙普賢岳の噴火活動について体験学習施設。各地域からの支援への感謝の思いと復興への願いを込めた、岩岩と水によるモニュメントが印象的。

**口之津歴史民俗資料館 海の資料館**  
明治32年建設の旧税務庁舎を改造して資料館として再生。昔の生活用品や生産用具などを展示。また、口之津は明治大正期の三井三池炭坑の石炭積出港であったが、その陰で「からゆきさん」と呼ばれ、石炭運搬船で海外に密航した娘の存在を知ることができる。

**下田温泉**

**十三仏公園**  
天草西海岸の景勝。外海の荒々しさが感じられる。

**高浜焼寿芳窯**  
天草陶石を代表する窯元。天草は陶石の産地でもあり、平賀源内が「天下無双」と評したほど。現在も続く天草の磁器を楽しみたい。

**牛深市**

※ 4月中旬に訪れた場合には、牛深ハイヤ祭りに参加したい。秋には、伊勢エビ祭りが催されている。

# 歴史と祭祀の源流に触れる旅

(提案者：尾上 博一)

## 旅の趣旨

対馬には、亀卜神事や赤米にまつわる頭受け神事などの祭祀があり、天道信仰など対馬独特の信仰がある。

また、特色ある伝統と文化を通観できる対馬は、大陸や朝鮮半島との交流の要衝であった歴史を通して、日本全体の交流と推移の歴史を通観できる地でもある。

この旅では、対馬地域独特の伝統や文化に触れるとともに、日本の交流史を展望し、歴史と自然を十分に堪能してほしい。

**旅の対象者** 団塊世代の会社人、都心部の小中学生、修学旅行生、祭祀や信仰の歴史に興味がある人たち、外国人。

**旅の日数** 1泊2日

## 旅の時期

- ①春から初夏 春から初夏にかけては、社叢が新緑で覆われ、自然と歴史が美しく雄壮に融合する景色が見られるため。
- ②9月上旬 命婦神楽が見学できるため。

## 選考理由

- 大陸と日本を結ぶ交通の要衝であり、古来歴史的にも文化的にも重要な位置を占めてきた「対馬」という地域をクローズアップした旅であり、交流史的な観点から光を当てたことを評価したい。
- 対馬に多く存在する式内社を巡るというリアルな体験を通して、自然と信仰の一体性や対馬独自の文化を体感できることが魅力であり、文化の多様性に目を開かせてくれるに違いない。知的な好奇心をくすぐる旅である。

## 旅程

### 和多都美神社

式内社。彦火火出見尊と豊玉姫命を祭る。旧暦の八月一日に大祭が開かれ、命婦神楽が行われる。県指定天然記念物である。

### 木坂海神神社

旧暦の八月五日に大祭が開かれ、命婦神楽が行われる。御神体は国指定重要文化財である金銅新羅仏である。

### 上見坂展望所

標高358mの展望台からは浅茅湾が一望できる。また、明治34年頃に造られた堡壘跡などの近代遺産が見学できる。

### 八丁郭

ここ八丁郭は聖地とされ、石をピラミッド状に積み上げた塔がある。かつて対馬で天道信仰が盛んだった時代の遺跡で祭祀の場であった。

### 雷神社

明治4年の廃藩置県まで公式に亀卜が行われていた。現在この亀卜は形骸化した。「サンゾーロー祭」と呼ばれる祭礼は貴重な民俗資料として有名。

### 多久頭魂神社

式内社。「多久頭魂神社梵鐘」は対馬の古族阿比留氏の銘も見える貴重な遺物である。その他、「多久頭魂神社金鼓」は高麗時代の大鉦で珍しい。ともに国指定重要文化財である。

### 万松院

国指定史跡。10代貞国と19代から32代までの宗氏の歴代藩主と正室・側室の墓が並ぶ。

### 金石城跡

国指定特別史跡。万松院から櫓門まで続く城壁石垣は鏡石を多用し、秩序良く組み立てられた様式美が素晴らしい。

### 長崎県立・対馬歴史民族資料館

島内で出土した縄文時代以降の考古遺物や朝鮮通信使関連の絵巻、海女の道具などの民俗資料、近世の古文書などを展示。

宿泊：対馬市美津島町